

科目ナンバリング		U-LAS55 10002 SB31			
授業科目名 <英訳>	海外実地セミナー :東南アジアの再生可能エネルギー開発 Overseas Field Seminars :Development of Renewable Energy in ASEAN			担当者所属 職名・氏名	エネルギー科学研究科 准教授 尾形 清一
群	キャリア形成科目群		分野(分類)	多文化理解	使用言語 日本語及び英語
旧群		単位数 2単位	時間数 30時間	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・ 前期集中	曜時限	集中	配当学年	全回生
対象学生 全学向					
【授業の概要・目的】					
東南アジア(タイ)のチェンマイ大学他を訪問し、再生可能エネルギーの基礎と導入時の問題点および将来展望について、現地大学の学生と共に学ぶ。					
【到達目標】					
再生可能エネルギーの特徴を踏まえ、地域に適合した技術導入についての課題を理解する。そして、SDGsやカーボンニュートラル実現に向けた技術・社会経済・事業モデルの在り方学ぶ。また、このセミナーで学んだ知識を基に、タイ(チェンマイ県)・日本(京都府)の地域におけるカーボンニュートラル実現に向けた具体的な事業モデルを検討し、政策提案につなげる。					
【授業計画と内容】					
出発日前事前授業間(受講生の都合のつく時間帯に3コマ程度を実施)					
8月もしくは9月に実施する。以下は、現地(タイ・チェンマイ)での現地調査・講義のスケジュールである。					
第1日 日本朝出発―バンコク経由、現地到着					
第2日 午前 オリエンテーション、午後、講義(タイと日本のエネルギー利用の特徴)					
第3日 講義(地域開発と再生可能エネルギー)					
第4日 近郊の再エネ施設 Chiang Mai World Green City					
第5日 近郊の再エネ施設 Chiang Mai World Green City					
第6日 講義 Bio-Circular-Green(BCG)経済モデルについて					
第7日 講義 バイオマス・太陽エネルギー利用、実習					
第8日 グループ討論(再生可能エネルギー・カーボンニュートラル実現に向けたビジネスモデル・政策モデルの検討)、発表準備					
第9日 発表会、閉会式、午後チェンマイ出発、バンコク経由、翌日関西空港到着					
日程は都合により変更される場合がある。					
帰国後に、地域におけるカーボンニュートラル実現に向けた具体的な事業モデルを検討し、レポートとして提出すること。					

海外実地セミナー :東南アジアの再生可能エネルギー開発(2)へ続く↓↓↓					

【履修要件】

安全講習の受講、学研災付帯海外留学保険への加入。事前学習として「ILASセミナー：再生可能エネルギー政策の調査と計画」を受講することが望ましいが、必須ではない。

【成績評価の方法・観点】

現地での学習状況(50%)、現地での発表会報告内容もしくは帰国後提出するレポート(50%)に基づき採点する

【教科書】

前期の採点報告日以降に実施するため、成績報告が前期に間に合わない可能性がある

旅費は自己負担となる。費用の目安は、航空運賃・滞在費などを含めて15万円程度（2019年実績）である。

本科目は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、不開講となる可能性がある

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

事前授業を含め、すべての行事に参加すること。

【その他（オフィスアワー等）】